

沖縄県在宅医療人材育成・質の向上センター主催

在宅医療を支える人のための研修会

～対話し協働する担当者会議を目指して～

第1部：座長 島袋恭子（那覇市立病院 医療ソーシャルワーカー）

患者の最善の為に、多職種間で
「聴ける・言える」専門家になろう！

講師：金城隆展先生
臨床倫理士（倫理コンサルタント）
（琉球大学医学部附属病院地域医療部）

第2部：座長 荷川取尚樹（花あかり 介護支援専門員）

チームケアを有効に進めるための
コミュニケーションの取り方

講師：金城正高先生
医師
（沖縄県立中部病院神経内科）

第3部：座長 喜納美津男（きなクリニック院長 医師）

実習：グループワーク
カード式で担当者会議を
やってみよう

参加無料

定員50名

*申込が必要です

日時

2015年1月12日 月

13:00～17:40
12:30開場

場所

沖縄県医師会館（南風原町）

対象

医療・介護・看護に関わる方



申込

12月24日（水）申込締切 詳しくは裏面をご覧ください

問合せ

琉球大学医学部附属病院がんセンター（担当：山口）
TEL：098-895-1374 FAX：098-895-1497（月～金 9:00～16:00）

共催：琉球大学医学部附属病院がんセンター

後援：一般社団法人沖縄県医師会、一般社団法人沖縄県歯科医師会、一般社団法人沖縄県薬剤師会
公益社団法人沖縄県看護協会、公益社団法人沖縄県栄養士会、公益社団法人沖縄県理学療法士協会
一般社団法人沖縄県介護支援専門員協会、一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
一般社団法人沖縄県作業療法士会、一般社団法人沖縄県言語聴覚士会、一般社団法人沖縄県介護福祉士会（順不同）

在宅医療を支える人のための研修会 参加申込書

FAX：098-895-1497 12月24日（水）締切

お名前 (フリガナ)	
所属機関	
職名	
所持免許	
経験年数	
役職	
TEL	
ロールプレイをしたことがありますか？	はい いいえ はいの方→ 回
担当者会議への出席回数を教えてください	0回 1～25回 25～50回 50回以上

受講可否をお知らせいたしますので、FAXまたはe-mail
(どちらか一つで可) をご記入ください

FAXまたはe-mail	
--------------	--

*参加希望者は上記をご記入の上、FAX・e-mail・郵送にてお申し込み下さい

*受講可否は、1月5日までにFAXまたはe-mailにてお知らせいたします

お申込み・お問い合わせ先
沖縄県在宅医療人材育成・質の向上センター
(琉球大学医学部附属病院がんセンター内)

TEL：098-895-1374

FAX：098-895-1497

E-mail：motoko@jim.u-ryukyu.ac.jp

住所：西原町字上原207番地

HP：<http://www.okinawa-zaitakushitu.jp/>

「在宅医療を支える人のための研修会 ～対話し協働する担当者会議を目指して～」 開催について

概要

名 称	在宅医療を支える人のための研修会 ～対話し協働する担当者会議を目指して～
日 時	2015年1月12日(月) 13:00～17:40
場 所	沖縄県医師会館
参 加 者	医療・介護・看護に関わる方、他 68名
主 催	沖縄県在宅医療人材育成・質の向上センター
共 催	琉球大学医学部附属病院がんセンター
後 援	一般社団法人沖縄県医師会、一般社団法人沖縄県歯科医師会、一般社団法人沖縄県薬剤師会、公益社団法人沖縄県看護協会、公益社団法人沖縄県栄養士会、公益社団法人沖縄県理学療法士協会、一般社団法人沖縄県介護支援専門員協会、一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会、一般社団法人沖縄県作業療法士会、一般社団法人沖縄県言語聴覚士会、一般社団法人沖縄県介護福祉士会

プログラム

第 1 部	座長 島袋恭子（那覇市立病院 医療ソーシャルワーカー） 患者の最善の為に、多職種間で「聴ける・言える」専門家になろう！ 講師：金城隆展先生 臨床倫理士（倫理コンサルタント） （琉球大学医学部附属病院地域医療部）
第 2 部	座長 荷川取尚樹（花あかり 介護支援専門員） チームケアを有効に進めるためのコミュニケーションの取り方 講師：金城正高先生 医師（沖縄県立中部病院神経内科）
第 3 部	座長 喜納美津男（きなクリニック院長 医師） 実習：グループワークカード式で担当者会議をやってみよう

チラシ

沖縄県在宅医療人材育成・質の向上センター主催

在宅医療を支える人のための研修会

～対話し協働する担当者会議を目指して～

第1部：座長 島袋純子（那覇市立病院 医療ソーシャルワーカー）

患者の最善の為に、多職種間で「聴ける・言える」専門家になろう！
 講師：金城隆展先生
 臨床倫理士（倫理コンサルタント）
 （琉球大学医学部附属病院地域医療部）

第2部：座長 南川取尚樹（花あかり 介護支援専門員）

チームケアを有効に進めるためのコミュニケーションの取り方
 講師：金城正高先生
 医師
 （沖縄県立中部病院神経内科）

第3部：座長 喜納美津男（きなクリニック院長 医師）

実習：グループワーク
 カード式で担当者会議をやってみよう

参加無料
定員50名
 ＊申込が必要です

日時 2015年1月12日 月 13:00～17:40
 12:30開場

場所 沖縄県医師会館（南風原町）

対象 医療・介護・看護に関わる方

申込 12月24日（水）申込締切 詳しくは裏面をご覧ください

問合せ 琉球大学医学部附属病院がんセンター（担当：山口）
 TEL：098-895-1374 FAX：098-895-1497（月～金 9:00～16:00）

共催：琉球大学医学部附属病院がんセンター
 後援：一般社団法人沖縄県医師会、一般社団法人沖縄県歯科医師会、一般社団法人沖縄県薬剤師会、公益社団法人沖縄県看護協会、公益社団法人沖縄県牙医士会、公益社団法人沖縄県理学療法士協会、一般社団法人沖縄県介護支援専門員協会、一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会、一般社団法人沖縄県作業療法士会、一般社団法人沖縄県言語聴覚士会、一般社団法人沖縄県介護福祉士会（順不同）

在宅医療を支える人のための研修会 参加申込書

FAX：098-895-1497 12月24日（水）締切

お名前 (フリガナ)	例：山田 花子 ヤマダ ハナコ		
所属機関	例：沖縄訪問看護 ステーション		
職名	例：看護師		
持免許	例：介護支援専門員 看護師		
経験年数	例：12年		
役職	例：主任		
TEL	例：098-895-3331		
ルールプレイをしたことがありますか？	はい	いいえ	はいの方→ 回
担当者会議への出席回数を教えてください	0回	1～25回	25～50回 50回以上

受講可否をお知らせいたしますので、FAXまたはe-mail（どちらか一つで可）をご記入ください

FAXまたはe-mail

＊参加希望者は上記をご記入の上、FAX・e-mail・郵送にてお申し込み下さい
 ＊受講可否は、1月5日までにFAXまたはe-mailにてお知らせいたします

お申込み・お問い合わせ先
 沖縄県在宅医療人材育成・質の向上センター
 （琉球大学医学部附属病院がんセンター内）
 TEL：098-895-1374
 FAX：098-895-1497
 E-mail：motoko@jim.u-ryukyuu.ac.jp
 住所：西原町字上原207番地
 HP：http://www.okinawa-zaitakushitu.jp/

会場の様子



会場の様子

講演会



グループワーク



会場の様子



会場の様子



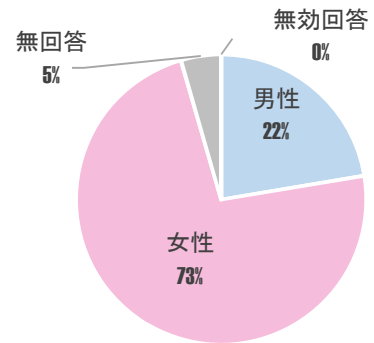
アンケート結果 1

参加者68名（回収率98.5%）

あなたについてお伺いします

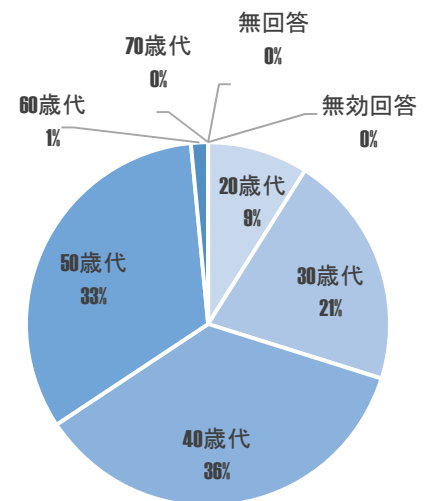
問 1. 性別

	件数	%
男性	15	22.4%
女性	49	73.1%
無回答	3	4.5%
無効回答	0	0.0%
合計	67	100%



問 2. 年代

	件数	%
20歳代	6	9.0%
30歳代	14	20.9%
40歳代	24	35.8%
50歳代	22	32.8%
60歳代	1	1.5%
70歳代	0	0.0%
無回答	0	0.0%
無効回答	0	0.0%
合計	67	100%



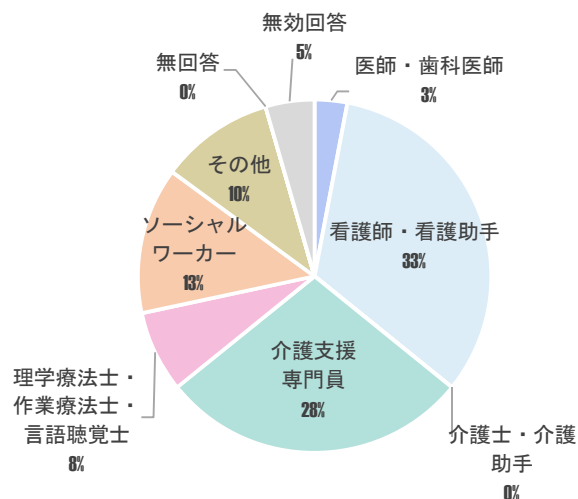
1. 報告書中の「n」は質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するのかが示す比率算出の基数となります。2. 複数回答の質問においては、総回答数を回答者数（n）で割った比率を回答割合として示しているため、合計が100%を超える場合があります。グラフの一部では回答数0（0.0%）を省略しているものがあります。3. 結果数値（%）は、四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

アンケート結果2

参加者68名（回収率98.5%）

問3. 職種

	件数	%
医師・歯科医師	2	3.0%
看護師・看護助手	22	32.8%
介護士・介護助手	0	0.0%
介護支援専門員	19	28.4%
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	5	7.5%
ソーシャルワーカー	9	13.4%
その他	7	10.4%
無回答	0	0.0%
無効回答	3	4.5%
合計	67	100%



問4. 本日の講演は何で知りましたか (複数選択可)

	件数	%
職場へ来たチラシ	49	73.1%
職能団体からの情報	7	10.4%
知人の紹介	5	7.5%
インターネット・SNS	3	4.5%
その他	4	6.0%
合計	68	101.5%

無回答 1

n=67

知人の紹介 詳細

・職場の先パイから 1

その他 詳細

琉大がんセンターより 1

琉大からの案内 1

Drより 1

アンケート結果3

参加者68名（回収率98.5%）

研修についてお伺いします

問1. 本日の講演の参加の動機は何ですか

(複数選択可)

	件数	%
「在宅医療」に興味・関心があったから	50	74.6%
本日の講師やプログラム内容にひかれたから	39	58.2%
参加するよう 誘い・指示があったから	13	19.4%
倫理について悩んでいるから	7	10.4%
コミュニケーションについて悩んでいるから	15	22.4%
担当者会議について悩んでいるから	22	32.8%
その他	0	0.0%
合計	146	217.9%

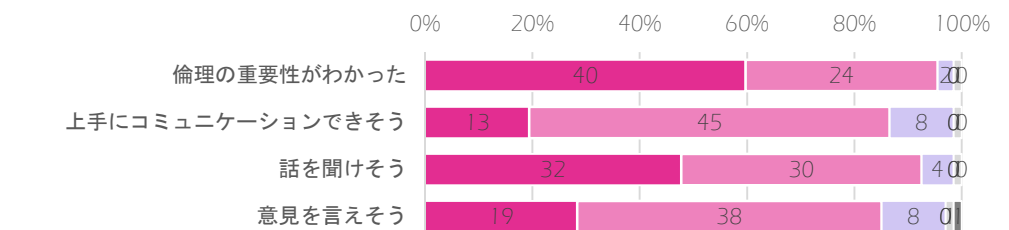
無効回答 0

n=67

問2. 講演を聞いてあてはまるものを選んでください

SA

	とてもあてはまる	あてはまる	普通	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答	無効回答	合計
仕事を行う上で倫理の重要性が分かった	40	24	2	0	0	1	0	67
以前より上手にコミュニケーションを取れるようになりそうだ	13	45	8	0	0	1	0	67
他職種や患者さん・患者家族の話を以前より聞けそうだ	32	30	4	0	0	1	0	67
他職種や患者さん・患者家族に以前より自分の意見を言えるようになりそうだ	19	38	8	0	0	1	1	67



■ とてもあてはまる ■ あてはまる ■ 普通 ■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない ■ 無回答 ■ 無効回答

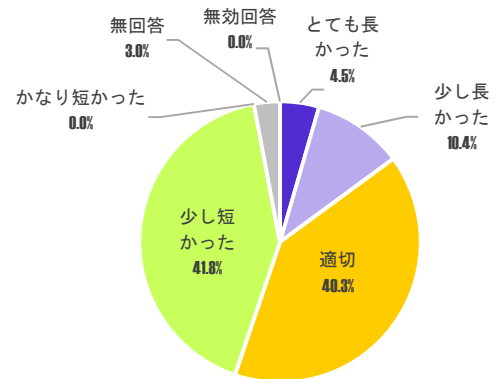
アンケート結果4

参加者68名（回収率98.5%）

問3. グループワークを行ってあてはまるものを選んでください

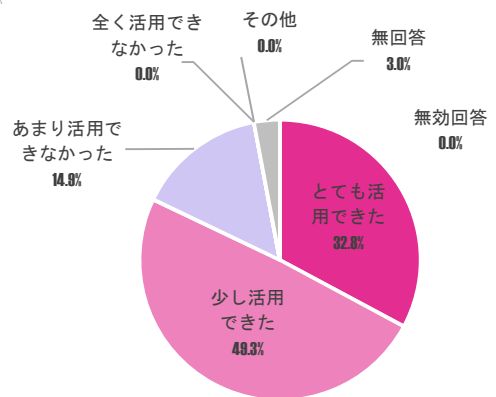
グループワークで討論をする時間は適切でしたか

	件数	%
とても長かった	3	4.5%
少し長かった	7	10.4%
適切	27	40.3%
少し短かった	28	41.8%
かなり短かった	0	0.0%
無回答	2	3.0%
無効回答	0	0.0%
合計	67	100%



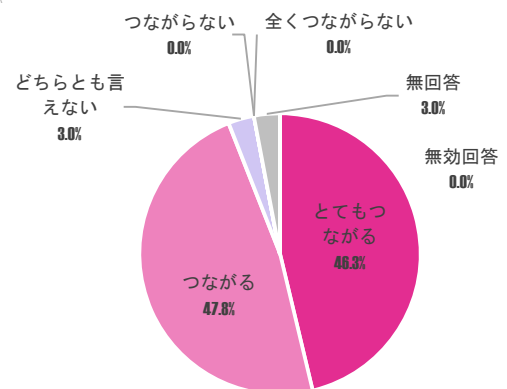
講演で聞いた内容をグループワークで活用できましたか

	件数	%
とても活用できた	22	32.8%
少し活用できた	33	49.3%
あまり活用できなかった	10	14.9%
全く活用できなかった	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	2	3.0%
無効回答	0	0.0%
合計	67	100%



グループワークの内容は今後の仕事の改善・向上につながりますか

	件数	%
とてもつながる	31	46.3%
つながる	32	47.8%
どちらとも言えない	2	3.0%
つながらない	0	0.0%
全くつながらない	0	0.0%
無回答	2	3.0%
無効回答	0	0.0%
合計	67	100%

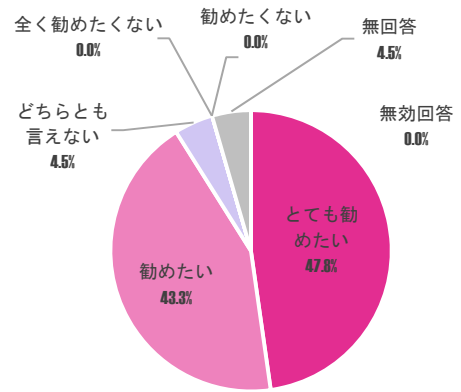


アンケート結果5

参加者68名（回収率98.5%）

問4. この研修会への参加を職場の同僚に勧めたいと思いますか

	件数	%
とても勧めたい	32	47.8%
勧めたい	29	43.3%
どちらとも言えない	3	4.5%
勧めたくない	0	0.0%
全く勧めたくない	0	0.0%
無回答	3	4.5%
無効回答	0	0.0%
合計	67	100%



問5. 本日の研修に関するご意見ご感想をお聞かせください

- 貴重な経験をさせていただきました。（無回答/50歳代/その他）
- 初めてのグループワークで、難しい面もあった。自分の担当しているケースに少なからず関係する事で、今後話をすすめていく上でとても為になった。（男性/20歳代/ソーシャルワーカー）
- 金城隆展先生 非常に難しいと思われる内容を大変わかりやすく講義して頂きました。” 幸せのあり方” を常に考えながら業務に努めてみようと思いました。（女性/40歳代/介護支援専門員）
- 久しぶりの正高Drの講演が聞くことができ、初心にもどれました。（女性/40歳代/介護支援専門員）
- グループワークが早めはとまどいましたが、これを何度か繰り返したら力がつくと思います。また研修を受けたいと思います。（女性/40歳代/介護支援専門員）
- 羅生門的現実には時々ぶつかります。今後集まって物語を一緒に紡ぐ奇跡を起こせるように努力していきたいと思います。（女性/50歳代/その他）
- わかりやすい講演会でした。時間もちょうど良かったと思います。久しぶりにパワーポイントでなく口頭と筆談の講演会でしたが、わかりやすく、私達年代には、納得しやすい説明でした。（女性/50歳代/介護支援専門員）
- 倫理について、もう少し勉強が必要と思いました。（女性/50歳代/無効回答）
- 講演ではよくわからなかった「倫理」が、Gワークを通して先生の最後の講演でわかるようになりました。ありがとうございました。カード式楽しかったです。（女性/50歳代/介護支援専門員）
- とても楽しい学び、気付きの多い研修でした。ありがとうございました。準備等本当にありがとうございました。感謝感謝の気持ちでいっぱいです。（女性/30歳代/看護師・看護助手）
- グループワークと聞くとみがまえてしまうが、今回のグループワークは楽しくてあっという間に時間が過ぎてしまった。ケアマネの更新申請のサービス担当者会議の実践でのこのグループワークが出来たらいいと思った。（無回答/30歳代/ソーシャルワーカー）
- 皆で考える、いろんな視点からの物語をきいて事例の理解を深めていく、皆が同じ方向を向いて話しあえるように、担当者会議はとても大切な場だと思いました。大切な視点を再確認できてとても良かったです。情報のひき出し方も良かったです。訓練が必要です。（女性/30歳代/ソーシャルワーカー）
- 具体的に良かった。他の職種の考え方もきけて参考になった。（女性/60歳代/看護師・看護助手）
- はっとさせられることがたくさんある、濃い時間でした。ありがとうございます。（女性/30歳代/無効回答）
- 居宅支援事業所内でカード方式のグループワークをやってみたいと思います。（女性/50歳代/介護支援専門員）
- 医師の積極的な参加に今後期待します。（男性/30歳代/医師・歯科医師）
- 質問力の難しさを感じたケース（研修）でした。（女性/40歳代/介護支援専門員）
- 利用者本人の意向をうまく聞き出せる会話力がケアマネに必要なのだと実感しました。（女性/40歳代/介護支援専門員）
- 気づきが大事で、そのあとさらに声に出すことが重要だと思いました。また、他職種連携の重要性を改めて感じました。（女性/30歳代/理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）

アンケート結果6

参加者68名（回収率98.5%）

20	同じ研修を来年もしてほしい。（男性/40歳代/介護支援専門員）
21	今回のグループワークで、情報を集めていくべき視点が再確認できた。それで、倫理的問題を明らかにしていくことが難しいと痛感できました。（男性/40歳代/看護師・看護助手）
22	経験が支援の落とし穴になる危険性を持つことをいつもいいかせたいと思います。なれないにならない様にこうした研修等や日々の連携で他者の意見を聴く力をより育てたいと思いました。（女性/50歳代/看護師・看護助手）
23	本日はありがとうございました。今よりも、色々な方の話しに耳を傾け、本人、家族にとって良い支援が出来るようにしていきたいです。（男性/20歳代/ソーシャルワーカー）
24	最初から講演会、楽しくて勉強になりました。（女性/50歳代/看護師・看護助手）
25	金城先生のお話、わかりやすく、ためになりました。（女性/50歳代/介護支援専門員）
26	分かりやすい内容。本来ある支援について考える機会になる。（男性/20歳代/ソーシャルワーカー）
27	講師の方々の職種も分かれていて、多様な視点の話が聞けて良かったと思いました。（女性/30歳代/理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）
28	人として、成長できる研修でした。（男性/40歳代/介護支援専門員）
29	とても勉強になりました。（女性/30歳代/看護師・看護助手）
30	両金城先生の講話、大変参考になりました。早速明日から活用したいと思います。（女性/40歳代/看護師・看護助手）
31	本当に素晴らしい研修でした。普段色々悩んでいる事のヒントがたくさん見えてきました。患者さんや家族の為に最善の方法をみんなで真剣に話し合うことができれば必ずベストな方法が見えてくると知り勇気が出てきました。今日は本当にありがとうございました。（女性/30歳代/看護師・看護助手）
32	とても素敵な心温まる研修会でした。このような学びの場を今後も作ってほしいと思います。（女性/40歳代/看護師・看護助手）
33	利用者の方の為になる事探しをがんばります！！（女性/40歳代/その他）
34	本人を中心とした支援が出来ない、出来てない状況が多くあったと実感しました。（男性/20歳代/その他）
35	これからの担当者会議に参加する心がまえ思いが今までとかなり違ってくると思います。自分の持っている思い意見を積極的に発言し、利用者（家族）の思いを引き出せるカンファレンスになるように心がけて参加します。（女性/50歳代/看護師・看護助手）
36	情報のとり方や多方面での視点があることを改めて意識でき、とてもよかった。実際の荷川取さんの症例は、その後や関わった方の意見が直接きけたことはとてもよかったと思います。（女性/20歳代/理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）
37	とても良かった。サービス担当者会ギに参加するとき、とても悩むことが多い。共感共有ができないこともあるので意見を言えるようにしていきたい。（女性/50歳代/看護師・看護助手）
38	にかどりさん、福村さん、自らの事例を提供して頂いて有難うございました。実際の現場で活用したいと思いましたが、実際行う場で気になる点があり、実際書面で記述できるのか、問題をまとめて実際の方針までもっていくことができるのか。（女性/30歳代/介護支援専門員）
39	休日を活用しての研修だったので参加しやすかった。担会の重要性を再確認できました。多職種間での連携の大切さ、利用者本人の思いをつないでいけたらと思います。（女性/40歳代/介護支援専門員）
40	金城先生のおふたりの話とてもよかったです。2人とも言葉のセンスがばつぐんですね！！短くても伝える言葉の選択がみごとだと思いました。グループワークの「オチ」がすごいいいと思いました。担当ケアマネではなく当事者の家族が登場するとは～！！しかも自分の家族を事例にするなんて・・・本当に素晴らしい。荷川取さんはさらに一皮も二皮もむけたケアマネになっていくと思います。担当ケアマネさんの発表も心がこもっていてじ～んとしました。すてきなケアマネさんにあえてよかったです！！感動した！！（女性/50歳代/無効回答）
41	ファシリテーターとして質問の根拠をきくことがなかなかできないので、訓練したい。（女性/50歳代/ソーシャルワーカー）
42	カード方式も、倫理についても、とてもショックな程で大切な重要なことを学べました。仲間との連携、情報の共有、四原則、とても大切なことを学びました。「相手を解った。」と思いがちなので、そこが”落とし穴”なんだとすごく実感しました。ありがとうございました。（女性/40歳代/看護師・看護助手）
43	倫理とは？と言葉で言われると、知識が優先してしまいがちだが、立ち止まり考え、何が患者家族に必要なか、そして連携するためには今後考えていきたいと思っています。（女性/40歳代/看護師・看護助手）
44	明日困難ケースの利用者のことで、包括支援センター（社福・保ケン師）、CM、関わっている事業所でカンファ行う予定であって、不安いっぱいだったけど、今日の研修でパワーをもらいました。必ず奇跡が起こること信じて、頑張ろうと思います！！ありがとうございました。（女性/30歳代/介護支援専門員）
45	人の意見を聞くこと、意見をすることの大切さ。もやもや感もち、立ちどまることで患者さんの最善の益になると学びました。（女性/40歳代/ソーシャルワーカー）
56	グループワークの方法「カード形式」が初めてだったので新鮮でした。情報の取り方を考えさせられました。（男性/50歳代/医師・歯科医師）

アンケート結果7

参加者68名（回収率98.5%）

問6. 在宅医療・介護・看護を行なう上で悩んでいることを教えてください

- 「要支援」の方を支援していますが、「要介護」の方達と少し異なり（異なる印象）、皆さんそれぞれ意思表示も明確に、日々の生活を自力で営んでいます。そのうえで、倫理的課題にぶつかることが日常で、「この人にとってはこれが幸せ」と考えさせられることがあります。私達支援者の価値感で支援してはいけないということです。これを科学的に学ぶことができ大変勉強になりました。（女性/40歳代/介護支援専門員）
- それぞれの視点で、ズレを修正する事。一つの方向性を目指す事。（男性/20歳代/ソーシャルワーカー）
- 同じ想い、方向をむいて、会ぎをこれからもすすめていきたい。（女性/40歳代/介護支援専門員）
- ケア会ぎに上手に参加できるかどうか。（無回答/50歳代/その他）
- ストーマ造設された患者さんで、何度も自分で剥がしてしまい皮フトラブルが続いていて、介護者（娘）の負担が大きくなっています。娘さんの家族にも統合失調症の息子がいて、今日は事例も聞けて本当に勉強になりました。（女性/30歳代/看護師・看護助手）
- 本人の思いを聞き出す事はとても難しい。それを一つ一つ丁寧に対応しなければ後々本人との信頼関係がなり立たなくなる為、やはりコミュニケーション及び聴く気持ちを大切にしたいと思いました。（女性/40歳代/介護支援専門員）
- 先生とのコミュニケーションの取り方がむずかしい。先生にもよりますが・・・（女性/50歳代/介護支援専門員）
- 病院から退院し在宅で最後を迎えたい患者と家族、主治医、ケアマネ、訪看の思いが一致することが少なく、結局のところ利用者（患者）は置きざりになってしまうケースが多々ある。患者の思いを一番に考えないといけないはずなのに・・・というジレンマが担当者会議のたびに感じる思いと悩みです。（女性/50歳代/看護師・看護助手）
- 担会で各職種の意見を聞き、プランにはんえいさせる事でむずかしいです。（女性/50歳代/無効回答）
- 連携をとる機会が少ない。（女性/50歳代/介護支援専門員）
- 患者さん、ご家族のDemandsがかけ離れていること多く、すり合わせも大変でした。倫理を意識し、再度他スタッフ、患者さん、ご家族ともに見ていければと思います。（女性/20歳代/理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）
- 金城正高先生の話にもあったように、医療従事者の情報が偏っている。生活者として患者をとらえきれていないと日頃から感じます。SWとしてその差をどううめていくべきか、日頃から悩んでいます。（女性/30歳代/ソーシャルワーカー）
- 自分自身がどこまで介入するかすべきか悩む（女性/50歳代/看護師・看護助手）
- 担当者会議の持ち方（女性/60歳代/看護師・看護助手）
- 医療との連けいがむずかしい。外国人等ことばのかべでこまっている。医療通やくの不足等。（女性/40歳代/介護支援専門員）
- 特記事項なし（男性/30歳代/医師・歯科医師）
- 入院から在宅へ移行する際に、今後の方向性がいまいだったり情報と違ったりがあるので、入院と在宅の連携の実際をもっと（女性/30歳代/理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）
- ターミナル期にある利用者を支えていく為のコミュニケーションスキルが乏しいので、研修でも学べたらと思います。（男性/40歳代/看護師・看護助手）
- 連携、家族間の意向の調整（男性/20歳代/ソーシャルワーカー）
- 在宅で看護している中、いつも、心中で常にひっかかっていることはJCSⅢ200～300 要介護5の方の「終末期のむかえ方」です。老々介護や、入所中の方、その方自身の延命についての意思確認、“本人自身が延命についてどう思いながら過ごし、そしてどうむかえたいのか”の意思が不明なまま搬送され、胃ろう、気切、、、もう、確認をとれませんがいつもジレンマを感じています。（女性/40歳代/看護師・看護助手）
- チームケアはとても大切だと思います。（女性/50歳代/看護師・看護助手）
- ドクターを担当者会議にまきこんでいくには（女性/50歳代/介護支援専門員）
- 本人を支援する際に医師や他職種との関わり（男性/20歳代/ソーシャルワーカー）
- 担当者会議の開催を依頼しても、前回の会議を行ったばかりだからと断られた事もあったので、イニシアチブを誰が取るべきなのか悩む事もありました。（女性/30歳代/理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）
- 担当者会ぎを充実させるためには？設定するための時間的考りよ。（女性/40歳代/看護師・看護助手）
- 担当者会ぎのすすめかた。（女性/30歳代/無効回答）
- 訪問看ゴを導入したい思い。現状（本人、家族、ケアマネ、主治医がいる病院の看ゴ師は必要である）だが、主治医が、独立している訪看ステーションや自分が知らない看護師には指示書を出せないと云われた。医師との連携は難しさがある。（女性/40歳代/介護支援専門員）

アンケート結果8

参加者68名（回収率98.5%）

問7. 今後、企画してほしい研修があれば教えてください

-
1. このカード方式手法での研修をしてほしい。（女性/40歳代/介護支援専門員）

 2. 事例検討 難病支援 ナラティブアプローチ（女性/40歳代/看護師・看護助手）

 3. 今回の情報を集める訓練は、ぜひもう一度したい。ナラティブについての隆展先生の講話もききたいです。（女性/30歳代/ソーシャルワーカー）

 4. 特になし（男性/30歳代/医師・歯科医師）

 5. 看護、介護の悩み相談（女性/50歳代/看護師・看護助手）

 6. ナラティブアプローチについて（男性/50歳代/理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）

 7. 介護保険について（男性/50歳代/医師・歯科医師）

 8. 倫理についてもっと学びたいと思いました。こんなにも大切な事とは思っていませんでした。仕事の事だけでした。生き方、人生についても色々考えうことができました。もっと研修に参加したいです。（女性/30歳代/看護師・看護助手）

 9. ナラティブアプローチ。（女性/30歳代/無効回答）

 10. HOTや人口呼吸等の台風時の件や電気のかくほ等、どうしているのか？色々な情報がほしいです。（女性/40歳代/介護支援専門員）

 11. 多職種連携の重要性が問われているが、具体的にはまだどのように進めていいかわからない状況なので、顔がみえる連携として、事例検討会お願い（女性/40歳代/介護支援専門員）

 12. ライフステージの早い時期からの自らの終末期をどのようにむかえたいか、エンディングを自らの意思でむかえるという”看取り”に関する研修を一般の方向けになさって下さい。（女性/40歳代/看護師・看護助手）
-